

2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 アステリア株式会社
 コード番号 3853 URL <https://www.asteria.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	803	17.9	77	△14.7	388	287.9	235	207.5	231	196.8	872	—
2022年3月期第1四半期	681	1.0	90	△43.0	100	△38.6	77	△33.0	78	△32.0	32	△56.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	13.75	13.75
2022年3月期第1四半期	4.72	4.72

(注) 基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の数値を基に算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,681	9,779	9,078	66.4
2022年3月期	12,595	8,981	8,357	66.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2023年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	24.7	1,400	△59.4	1,400	△64.9	800	△68.1	47.64
			～5,100	～48.0	～5,100	～28.0	～3,200	～27.5	～190.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	17,491,265株	2022年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	698,084株	2022年3月期	699,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	16,792,184株	2022年3月期1Q	16,470,143株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトで開催する予定です。

2022年8月12日（金） 18：00～

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月～6月)における当社グループの業績は、売上収益についてはソフトウェア事業の好調が続き前年同期比11.9%増、デザイン事業は米国における新規顧客を中心とした売上増により前年同期比53.0%増、全体では前年同期比で17.9%増となりました。

利益については、第2年度に入った中期経営計画STARに基づき、CX0(最高変革責任者)をはじめとする人員の拡充や売上増加に繋がるマーケティング施策を積極的に実施しました。結果として、営業利益76,756千円(14.7%減)、税引前四半期利益388,126千円(287.9%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益230,956千円(196.8%増)となりました。

《当社グループの取り組み》

当社グループでは、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて積極的な対応を継続しております。全ての拠点において、各国の感染状況に合わせて全社的なテレワークへ移行し、事業のスムーズな遂行と社員の感染予防を両立しています。

また、当社の製品/サービスにおいても、全てのイベント/セミナーをオンライン化して顧客企業の感染拡大防止に努めるとともに、個別の製品/サービスにおいて、数々の取り組みを実施しています。

今後、当社グループにおいては、世界的な新型コロナウイルス感染拡大に端を発する急速なデジタル化の加速は不可逆であると考えており、数年間にわたって大きく成長すると考えられるC.A.R.(クラウド(Cloud)、自動化(Automation)、遠隔化(Remote))の領域に集中した投資を行います。

当第1四半期連結累計期間(以下、「当第1四半期」)における連結業績は以下のとおりです。

区分	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上収益	680,792千円	802,538千円	17.9%
営業利益	89,999千円	76,756千円	△14.7%
税引前四半期利益	100,053千円	388,126千円	287.9%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	77,805千円	230,956千円	196.8%

《当社の報告セグメント》

当社の報告セグメントは、当社の経営資源の配分の決定及び業績の評価を行うための区分を基礎とし、当第1四半期末現在、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。「ソフトウェア事業セグメント」は、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と、2017年に買収したThis Place社にて提供する「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。「投資事業セグメント」は、2019年に開始したAsteria Vision Fundで実施する企業投資事業で構成されます。

《ソフトウェア事業セグメント》

ソフトウェア事業セグメントは2つの事業で構成され、それぞれの売上状況は以下の通りです。

ソフトウェア事業

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比
売上収益	580,890千円	649,738千円	111.9%

＜売上収益の状況＞

データ連携ツール「Warp」は、業務効率の改善に向けたIT投資や改正電子帳簿保存法などへの対応に伴い、幅広い業界でクラウドサービスと社内システムとの新たな連携ニーズが拡大していることから、ライセンス版を始めとした製品シリーズ全体の売り上げが堅調に推移しました。特にサブスクリプション版「Core」は新規顧客開拓が好調で、約30%の増収を記録しています。

AI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」は、パートナー企業との協業による販促・マーケティング活動を積極的に展開した結果、大規模スタジアムや宿泊施設などのパブリックスペース、オフィス、飲食店などでの新規導入が広がっています。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、現場のDXや各種業務アプリの内製化を実現するノーコードツールとして注目されるなか、デジタル化による業務改善意欲の高いサービス業界からの引合いが好調。製品ラインアップや法改正に対応するテンプレートの拡充に注力し、付加価値を高める製品力強化にも取り組んでいます。

2022年2月に販売を開始した商談支援アプリ「Handbook X」は、営業職を中心に幅広いニーズがあり、導入の手軽さや多様なコンテンツへのアクセスのしやすさなどが評価されています。

デザイン事業

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比
売上収益	99,902千円	152,801千円	153.0%

＜売上収益の状況＞

米国におけるIT系新規顧客を中心とした売上増のほか、英国・米国の既存顧客からの追加受注を獲得できたことにより、前年同期比で増収となりました。

《投資事業セグメント》

投資事業セグメントは、2019年に開始したAsteria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じた企業投資事業です。AVF-1は、当社のソフトウェア事業と同じ「4D戦略」(Data, Device, Decentralized, Design)に基づく投資を実施しており、その業績は、国際会計基準に基づき投資先の評価額の増減を計上しています。

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比
評価額の増減(△は減少)	△996千円	60,041千円	—

主として、宇宙開発ベンチャーSpace X(米国)の評価額が増加しました。

※「評価額の増減(△は減少)」は、要約四半期連結損益計算書の「(その他の収益)又は(その他の費用)」に含まれております。

※Gorilla Technology Inc.の上場に関する詳細については、P.13(重要な後発事象)をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間における資産合計は13,680,562千円となり、前連結会計年度末に比べ1,085,843千円増加しました。この主な要因は、その他の金融資産（主に投資有価証券）1,104,250千円の増加によるものです。

(負債)

負債合計は、3,901,173千円となり、前連結会計年度末に比べ287,816千円増加しました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務248,543千円の減少に対し、その他の流動負債236,450千円の増加及び繰延税金負債227,830千円の増加によるものです。

(資本)

資本合計は、9,779,389千円となり、前連結会計年度末に比べ798,028千円増加しました。この主な要因は、その他の資本の構成要素564,854千円、利益剰余金155,322千円及び非支配持分76,596千円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より320,150千円減少し、1,495,955千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は80,028千円（前年同期51,141千円の獲得）となりました。主に税引前四半期利益388,126千円の獲得、営業債務及びその他の債務255,301千円の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は311,029千円（前年同期110,238千円の使用）となりました。主に有形固定資産の取得による支出307,227千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は121,645千円（前年同期122,321千円の使用）となりました。主に配当金の支払額72,642千円及び長期借入金の返済による支出35,700千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、これまで非開示としておりましたが、現時点における情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので公表いたします。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,816,106	1,495,955
営業債権及びその他の債権	391,602	329,976
棚卸資産	4,211	—
その他の金融資産	375,804	419,602
その他の流動資産	234,898	265,317
流動資産合計	2,822,621	2,510,850
非流動資産		
有形固定資産	503,157	806,283
のれん	449,860	463,446
無形資産	94,117	108,634
持分法で会計処理されている投資	352,009	355,290
その他の金融資産	8,217,730	9,278,182
その他の非流動資産	155,224	157,876
非流動資産合計	9,772,098	11,169,712
資産合計	12,594,718	13,680,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	530,308	281,765
未払法人所得税等	—	108,299
その他の金融負債	43,510	54,129
その他の流動負債	656,093	892,543
流動負債合計	1,472,711	1,579,536
非流動負債		
引当金	9,341	9,348
借入金	500,200	464,500
繰延税金負債	1,240,632	1,468,462
その他の金融負債	385,824	373,929
その他の非流動負債	4,648	5,398
非流動負債合計	2,140,646	2,321,636
負債合計	3,613,357	3,901,173
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,457,037	2,458,292
自己株式	△538,012	△538,012
その他の資本の構成要素	258,934	823,789
利益剰余金	3,903,237	4,058,559
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,356,539	9,077,971
非支配持分	624,823	701,419
資本合計	8,981,362	9,779,389
負債及び資本合計	12,594,718	13,680,562

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	680,792	802,538
売上原価	115,978	160,633
売上総利益	564,814	641,905
販売費及び一般管理費	501,125	630,113
その他の収益	27,897	65,028
その他の費用	1,587	64
営業利益	89,999	76,756
金融収益	13,147	353,737
金融費用	1,764	42,296
持分法による投資損益(△損失)	△1,328	△71
税引前四半期利益	100,053	388,126
法人所得税費用	23,513	152,756
四半期利益	76,541	235,371
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	77,805	230,956
非支配持分	△1,264	4,415
四半期利益	76,541	235,371
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.72	13.75
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	4.72	13.75

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	76,541	235,371
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	△43,126	154,325
純損益に振り替えられることのない項目合計	△43,126	154,325
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,050	482,710
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,050	482,710
その他の包括利益合計	△44,177	637,036
四半期包括利益	32,364	872,406
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	34,907	795,810
非支配持分	△2,543	76,596
四半期包括利益	32,364	872,406

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	合計
2021年4月1日時点の残高	2,275,343	2,452,226	△532,437	119,415	△257,634	△138,219
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	228	△43,126	△42,898
四半期包括利益合計	—	—	—	228	△43,126	△42,898
配当金	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△4,971	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	△143	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△143	△4,971	—	—	—
2021年6月30日時点の残高	2,275,343	2,452,083	△537,409	119,644	△300,761	△181,117

親会社の所有者に帰属する
持分

	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円
2021年4月1日時点の残高	1,486,814	5,543,727	177,559	5,721,286
四半期利益	77,805	77,805	△1,264	76,541
その他の包括利益	—	△42,898	△1,278	△44,177
四半期包括利益合計	77,805	34,907	△2,543	32,364
配当金	△75,639	△75,639	—	△75,639
自己株式の取得	—	△4,971	—	△4,971
株式に基づく報酬取引	—	△143	—	△143
非支配持分との取引	—	—	1,106	1,106
その他	290	290	—	290
所有者との取引額合計	△75,349	△80,463	1,106	△79,357
2021年6月30日時点の残高	1,489,269	5,498,170	176,122	5,674,293

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	
	千円	千円	千円	千円	千円	
2022年4月1日時点の残高	2,275,343	2,457,037	△538,012	414,921	△155,986	258,934
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	410,529	154,325	564,854
四半期包括利益合計	—	—	—	410,529	154,325	564,854
配当金	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	1,255	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,255	—	—	—	—
2022年6月30日時点の残高	2,275,343	2,458,292	△538,012	825,450	△1,661	823,789

親会社の所有者に帰属する
持分

	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円
2022年4月1日時点の残高	3,903,237	8,356,539	624,823	8,981,362
四半期利益	230,956	230,956	4,415	235,371
その他の包括利益	—	564,854	72,181	637,036
四半期包括利益合計	230,956	795,810	76,596	872,406
配当金	△75,633	△75,633	—	△75,633
自己株式の取得	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	1,255	—	1,255
非支配持分との取引	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△75,633	△74,379	—	△74,379
2022年6月30日時点の残高	4,058,559	9,077,971	701,419	9,779,389

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	100,053	388,126
減価償却費及び償却費	56,412	31,288
金融収益	△13,147	△353,737
金融費用	1,764	42,296
持分法による投資損益(△は益)	1,328	71
その他の収益	△27,897	△65,028
その他の費用	1,587	64
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△97,648	71,720
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	5,959	△255,301
その他	123,546	226,669
小計	151,958	86,169
利息及び配当金の受取額	6,452	5,666
利息の支払額	△2,080	△1,724
法人所得税の支払額	△105,190	△10,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,141	80,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,764	△307,227
有形固定資産の売却による収入	43	—
無形資産の取得による支出	—	△218
投資の取得による支出	△109,520	—
その他	1,003	△3,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,238	△311,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△35,700	△35,700
リース負債の返済による支出	△14,310	△13,304
配当金の支払額	△72,311	△72,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,321	△121,645
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△181,418	△352,646
現金及び現金同等物の期首残高	2,451,427	1,816,106
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,632	32,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,272,641	1,495,955

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「ソフトウェア事業」および「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されております。

「ソフトウェア事業」には、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。

「投資事業」は、米国に拠点を置く100%子会社Asteria Vision Fund Inc.が管理する投資で構成されております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円	千円	千円
売上収益					
外部収益	680,792	—	680,792	—	680,792
セグメント間収益	16	6,571	6,588	△6,588	—
合計	680,809	6,571	687,380	△6,588	680,792
セグメント利益(△損失) (注) 2	73,531	△10,964	62,568	125	62,693
その他の収益及び費用					27,306
金融収益					13,147
金融費用					1,764
持分法による投資損益(△損失)					△1,328
税引前四半期利益					100,053
その他の項目					
減価償却費及び償却費	56,325	87	56,412	—	56,412

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	802,538	—	802,538	—	802,538
セグメント間収益	19	7,784	7,803	△7,803	—
合計	802,558	7,784	810,342	△7,803	802,538
セグメント利益(△損失) (注) 2	17,351	54,886	72,238	△405	71,833
その他の収益及び費用					4,923
金融収益					353,737
金融費用					42,296
持分法による投資損益(△損失)					△71
税引前四半期利益					388,126
その他の項目					
減価償却費及び償却費	31,185	103	31,288	—	31,288

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

(重要な後発事象)

当社の企業投資事業における連結子会社のAsteria Vision Fund I, L.P. を通じた出資先であるGorilla Technology Inc. (以下、Gorilla社) が、7月13日(米国時間)に開催されたGorilla社とGlobal SPAC Partners社それぞれの臨時株主総会で合併が決議され、合併が完了し、2022年7月14日に米国NASDAQへ上場いたしました。

(1) Gorilla社の上場について

Gorilla社は、2022年7月14日に米国NASDAQへ上場しました。当社グループは、2022年8月12日現在において約915万株を保有しております。そのうち将来的に業績等の条件によって権利が確定する株式として約207万株あります。また、上場日から最長1年間のロックアップ(株価条件によって期間短縮あり)が設定されております。

(2) 公正価値の測定方法について

同社の公正価値については、未上場の間は割引キャッシュ・フロー(DCF)法に基づき測定しておりましたが、米国NASDAQへの上場に伴い、第2四半期連結会計期間末より市場価格にて公正価値を測定します。

また、同社株式は「純損益を通じて公正価値で測定する金融商品(FVTPL)」に該当することから、今後の同社株式の株価変動および為替変動が当社グループの業績に影響を与える可能性があります。